



## ミキミニから考える人文学雑感

伊藤 大輔（美学美術史）

今年の子年ですね。世界で一番有名なネズミと言えばミッキーマウスとミニーマウスではないでしょうか。造形的な分析では、ミッキー&ミニーは基本的に正円の組み合わせで出来ています。それは複数の人間が関わるアニメーション制作では、描き手によって違いが生じないようにキャラクターの姿を標準化しておく必要があったからです。それはまた生産効率の面からも求められたものでした。

日本のマンガ黎明期にもこうしたミッキー&ミニーの描き方が取り入れられ、田河水泡ののらくろや手塚治虫の鉄腕アトムにも円を基準としたキャラクターづくりがみられることが指摘されています。一方で、対象を単純な幾何学的形態に還元するディズニーの制作手法は、美術史的にはロシア構成主義やピカソのキュビズムなど20世紀初頭の実験的な美術の動向とも関連し得るものでした。実際、田河水泡の前身は、大正アヴァンギャルドの美術家・高見沢路直でした。大塚英志氏は、日本のマンガ・アニメが20世紀初頭の先端的美術運動とディズニーアニメーションが交差する地点から始まったと指摘されています。

魅力的なミッキーは世界中の人々を惹き付けてやみません。ですがディズニーがグローバル化する中で、コンテンツ制作には様々な配慮が求められるようになってもいます。『アナと雪の女王』でも、文化盗用、ホワイトウォッシュ、エコフェミニズム等の観点から問題が指摘されています。そうした問題への配慮が作品の成否を左右するのです。

そしてそれらは大学の人文学の現場でも盛んに議論されている問題でもあります。文系（特に人文系）の学問は役に立たない、お金にならないと言われて久しいですが、それはまったくの誤解です。人文学研究は、例えばディズニーのような（そしておそらく日本のマンガ・アニメなども含んだ）コンテンツ産業の生産の現場と直接にかつ深く関わっているのです。



分野・専門紹介-File 56

## 国語の先生が日本語を学ぶ



分野・専門名：日本語教育学

私は静岡県の高校の国語教師でした。定年退職後の新たな挑戦として、海外での日本語教師を目指し、今大学院で学んでいます。

日本語教育は外国語を母語とする人たちへの教育です。ですから、普段私たちが無意識に使い分けている日本語を意識的に考えることが必要です。例えば、学校で先生が生徒に「廊下を走ってはいけません」と注意しますが、「廊下で走ってはいけません」とは言わないようです。しかし、「廊下で走る」という言い方もできそうですね。先生がのび太君に「廊下で立ってなさい」（体罰です）と言いますが「廊下に立ってなさい」も言えそうです。また「みんな廊下に出なさい」とは言いますが、「廊下で出なさい」は変です。この「を」

「で」「に」の使い分けにはどんな規則があるのでしょうか？考えてみて下さい。

日本語は動詞が目的語の後に来る言葉です。英語は逆です。中国語も同じです。漢文には返り点がありますね。ですから日本語を中国語に通訳する時は最後まで聞かないと訳せません。文を最後まで覚えておく記憶力が必要なのです。その一時的な記憶のことをワーキングメモリと言います。難しい説明は省きますが、ワーキングメモリは文章の読解力と関係があることが分かっています。私の研究はワーキングメモリと通訳能力の関係を探ることです。日本語の特徴に関係しているので言語学ですが、その方法は語や文を使った実験を行うという実験心理学のもので、これを心理言語学と言います。得られたデータは統計学を使って解析します。読まねばならない論文の多くは英語で書かれたものです。英語も数学（統計）もあまり得意ではない元国語教師は留学生に囲まれながら頑張っています。

(林 哲也・博士前期課程1年)

分野・専門紹介-File 57

## 英米文学を読む

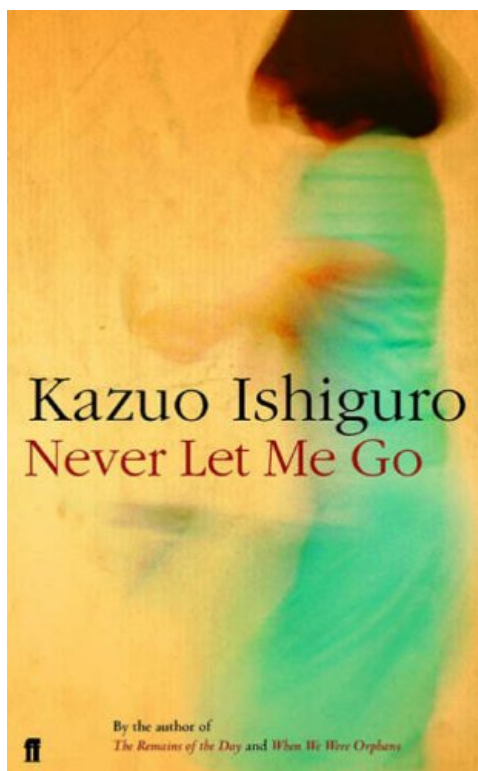
分野・専門名：英米文学

英米文学研究室では、イギリスやアメリカの作家による小説や詩、劇の台本などの文学作品を対象として研究しています。授業の内容は様々で、作品自体の研究に加え、文学史や文学理論の授業も開講されています。授業の形式は講義と演習の二種類に分かれています。講義では、文学史や文学理論などの説明を座学の形式で聞き、学んでいきます。演習では、学生が取り扱うテキストの指定された箇所を読み込み、作品について考えてきたことなどを発表し議論するなど、学生が主体となって進めていきます。

私はカズオ・イシグロの『わたしを離さないで』について研究しています。この作品は簡単に言えば、普通の人々のために臓器提供を行なうことが使命とされているクローンたちの物語で、その臓器提供によって人生を終えることが彼らの運命となっています。彼らの運命はすでに決められていますが、臓器提供までの生活を見るとその運命から簡単に逃げ出すことが出来るように見えます。そこで、私はクローンたちがこの運命を何の抵抗もなく受け入れていることに疑問を持ちました。この疑問を解決するために、クローンたちの運命に対する姿勢の変化を追っていき、最終的に運命を受け入れることが彼らにとって何を意味しているのか考えていくことを現在卒業論文のテーマにしています。

原文の単語一つ一つに注意を向けることによって、翻訳を読むだけでは分からないニュアンスが見えてきます。そのようなニュアンスが作品をより深く理解するためのヒントとなることが多々あります。

英米文学研究室では、講義で学んだ知識や、演習で学んだ読み方を生かすことで、文学作品をより楽しむことが出来るようになります。(小野内 亮太・学部4年)



最近の文学部

### 人文学研究の貢献

テレビ局の方と雑談した折に LGBT という言葉の使われ方が話題に上ったので、ここ二、三十年の経緯を踏まえて説明しました。情報化時代の目まぐるしい変化の中で、文化や社会を深く理解して今を知るための視点を提供するのも人文学研究者の大切な役割です。(CN)